

放送朝会「想像力」1/25

今日、校長先生は怒っています。この写真①を見てください。わかりますか？ 金曜日のお昼に、副校長先生が放送でお話をした「折られた植木」です。この枝は、折れてしまったのではなく、誰かに折られたものです。あるいは、誰かが踏みつけて折ったものです。自然に折れたものではありません。

昭島病院の歩道に植えられていました。折られてしまって、今は、このように②なってしまいました。これがもし人間の体だったら、自分の腕や脚を折られたのと同じです。こんな酷いことをする人がいるのです。残念です。この植木は昭島病院の方が心を込めて育てたものを、この場所に街路樹として一本一本植えてくださったのです③。その人の悲しい気持ちを想像できますか？

このロープは何でしょう④？ 街路樹を飛び越えたり、踏みつけたりする人がいたため、植木を守るためにロープを張ったそうです。けれども、そうしたら、なんと、今後はそのロープを飛び越える人が出てきたということです。とても危険です。

もし、ロープに脚が引っかかったら転倒して大怪我をしたり、命を落としてしまったりするかも知れません。考えただけでぞっとします。実際に脚が引っかかってロープが切れた跡⑤もあります。縁石に足跡⑥も付いています。倒れたところに、もし他の人がいたらどうなりますか？ その人も倒れて大怪我をするかも知れません。それが小さな子供や赤ちゃんだったら…、想像してみてください。

折れてしまった枝は生き返りません。みなさんの命も同じです。他の人の命も同じです。

同じように、毎日の学校生活を振り返って、自分の命、他の人の命を粗末にしている場面はありませんか？ 一人に一つの命。植物も同じです。大切にしない人を、校長先生は許しません。

